

事業所名

古河市児童発達支援センター　ぐるんぱ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7　年

6　月

23　日

法人（事業所）理念		・個々の発達特性に応じた専門性の高い療育の提供や、幼稚園・保育園等、学校など身近な地域における発達支援や相談などを、専門スタッフが実施し、療育の質の向上と充実を図ります。 ・早期から適切な療育・教育を受けられる体制を整備するとともに、保健、教育、福祉等の関係機関が連携し、切れ目のない支援体制の充実を図ります。 ・相談支援事業の充実や相談支援専門員の質の向上により、障がいのある人が、必要な時に身近な地域で気軽に相談できる体制の充実・強化を図ります。									
支援方針		センターで行う事業については、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、次のとおり適切なサービスの提供に努めます。 1)児童発達支援 日常生活における基本的動作、知識及び技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な療育を提供します。 2)放課後等デイサービス 生活能力の向上を目指し、療育の提供、社会との交流促進その他必要な支援を提供します。 3)保育所等訪問支援 幼稚園等や学校に訪問し、集団生活に適応できるよう、適切かつ効果的な支援を提供します。 4)相談支援 利用者の自立した日常生活または社会生活を営めるよう支援します。 また、センターでは地域と結びつきを重視し、関係市町村、地域の障害福祉サービス保健医療サービス及び福祉サービスの提供者その他関係機関との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。									
営業時間			8　時	30　分から	17　時	15　分まで	送迎実施の有無		○あり（児童発達支援のみ）		
		支　援　内　容									
本人支援	健康・生活	健康に過ごすための体づくりに加え、生活スキルの向上を目指し活動の提供を行っています。着替えや排せつなどもお子さんに合う方法を考え、一緒に取り組んでいきます。									
	運動・感覚	運動を通して、「運動神経をよくすること」ではなく「お子さん自身がやりたいことを実現するための土台作り」を目指しています。 また感覚遊びでは、お子さんが五感をフル活用しながら遊ぶことで、実感しながら学べるようお手伝いをしています。									
	認知・行動	遊びを体感し「知ること」を認知と考え、お子さんとスタッフで新しい体験を共有しながら、お子さんが「ハッ！」と喜ぶ瞬間を学びにつなげていきます。 また、実体験を伴った認知を広げることで、その子らしく的確な判断や行動に繋げられるように支援します。									
	言語コミュニケーション	お子さんとスタッフとのやりとりを通して「聞く力」と「伝える力」を身につけていくことを目指します。言葉だけではなく、文字や表情、ジェスチャーを活用していきながら、お子さんがやりとりしやすい方法を探していきます。									
	人間関係社会性	誰かと一緒に遊ぶ楽しさを感じる瞬間を大切にしていきます。周りの人に気づき、体験を共有することで、人に対する信頼感、安心感を育みます。 また、ルールのある遊びを通して、楽しみながら社会性を学ぶことができるよう支援しています。									
家族支援		療育の時などに、お子さんに関する困りごとに助言します。必要に応じて、発達検査や園訪問などを実施します。 就学相談説明会や、ペアレント・プログラムを行っています。					移行支援		保育施設や学校等、関係する機関と連携します。		
地域支援・地域連携		児童発達支援講演会 つながるミーティング 公立保育所交流 障害児通所事業所事業所交流会・職員研修会					職員の質の向上		センターでは、施設内外での研修参加できるよう取り組んでいます。 施設内研修 虐待防止・権利擁護・感染対策・防災対応・BCP訓練等 施設外研修 療育アドバイザー・療育技術講習会・外部団体の発達支援研修等		
主な行事等		ぐるんぱカフェ（保護者茶話会）　　お楽しみ給食（食育・保護者交流）　　お楽しみ会　　避難訓練									